

《判定基準規定》

【有効(ポイント1)】

- 以下のそれぞれの条件に「気合」と「残心」が伴ったものを有効とする
- ・上段に禁止技をのぞく蹴り技がクリーンヒットした場合
 - ・道着をつかまないう瞬の崩しや投げ、軸足払い等で相手を転倒させ即座に下段突きを寸止めで決めた場合
→転倒させられた相手による下からの蹴り上げは認める
 - ・相手の胴廻し回転蹴り等をかわし即座に下段突きを寸止めで決めた場合
 - ・前蹴りや足刀蹴りが相手にヒットし相手が大きく転倒し、気合と残心をとった場合は「有効」とする場合がある

【技有(ポイント2)】

- ・ダウンをしなくても相当のダメージを認めた場合
- ・有効を2回取った場合

【一本(ポイント3)】

- ・ダウンするか一時的に戦意を喪失した場合
- ・技有を2回取った場合
- ・有効を3回又は技有1回と有効1回を取った場合
- ・主審・医師が試合続行不可能と判断した場合

得点	ポイント	優劣	罰則	減点ポイント
			注意	0
有効	+ 1	=	警告	- 1
技有	+ 2	=	反則注意	- 2
一本	+ 3	=	反則(反則負)	- 3

【同点の際の判定基準】

態度、闘争心、力強さ、戦略の優劣、技術の優劣、しかけた技の多さ、中段以上の蹴りの多さ、技有には至らないダメージの有無、等で判定される。
※有効(ポイント1)あるいは警告(減点ポイント1)があっても、上記基準の優劣により判定で相殺される場合もあり得る。
※体重差を利して前へ出る行為は判定での優先順位が低い。

【審議】

- ◎競技判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判長にある。
- ◎審議内容については監査・審判が説明。決定にはいかなる抗議も受け付けない。

【注意】

- ◎セコンドは選手1名に対し、2名までとする。
- ◎大会会場及び試合中に生じた負傷・事故については競技者の自己責任となる。この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会医師並びに大会救護員あり。
- ◎大会会場・控室のゴミ・ペットボトルは各自で持ち帰ること

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ー着用なし

防具	男子						女子					
	幼年	小学生	中学生	一般 Bクラス	一般A	マスターズ	幼年	小3以下	小4以上	中学生	一般 Bクラス	一般A
マウスピース	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
拳サポーター(布製)	●	●	*●	*●	—	*●	●	●	●	*●	*●	—
パンチンググローブ	—	—	*●	*●	—	*●	—	—	—	*●	*●	—
スネサポーター(布製)	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●
ヒザサポーター(布製)	△	●	●	●	●	●	△	●	●	●	●	●
金的ファールカップ	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—
ヘッドガード	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—
心臓震盪予防用インナーチェスト	△	△	△	—	—	—	●	●	●	**●	**●	**●
スポーツブラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	**●	**●	**●
アンダーガード	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
Tシャツ	—	—	—	—	—	—	着用場合は白Tシャツのみとする。					

- ◎金的ファールカップは必ず道衣の中に着用。
- ◎拳頭部へのテーピングは、裂傷がある場合のみ認める。試合前に各コートの監査チェックを受けておくこと。それ以外の箇所へのテーピングに監査のチェックは不要。
- ◎*中学生以上の男女は、パンチンググローブか拳サポーター(布製)どちらでも選択可能。
- ◎**中学生以上の女子のインナーチェストとスポーツブラはどちらでも選択可能。

《禁止行為規定》

禁止行為は次の2つに分類される

◆1.危険行為(負傷につながる禁止行為)◆

- ◎顔面(首含む)への手技・頭突きでの攻撃(バッティング含む)
*ダメージのある顔面殴打の場合、故意・偶発に関わらず注意を通り越して減点ポイント1となる場合がある
- ◎上段膝蹴り(但し一般男子・一般女子は認める)
- ◎金的・女子の下腹部への攻撃
- ◎主審の「やめ」の後での攻撃
- ◎腰から上へ持ち上げての投げ
- ◎相手の蹴り足を持つての投げや攻撃
- ◎背後から正中線への攻撃
- ◎倒れた相手へ直接攻撃を当てる事
- ◎関節技をかける事(但し片手での関節技は認める)
- ◎その他主審が危険と判断した場合

◆2.違反行為(試合の進行を妨げる禁止行為)◆

- ◎相手の道着をつかむ事
- ◎首相撲
- ◎頭部、首へのかかえこみ(但し高校生以上は認める)
- ◎クリンチを仕掛ける事
- ◎故意に場外へ逃げる事
- ◎負傷を装う、又は誇張する事

【失格】◎試合中、審判員の指示に従わなかった場合

- ◎出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ◎各階級の規定体重をオーバーした場合
(2キロ未満は減点ポイント1、2キロ以上は失格)

■罰則基準■

【注意(減点0)】

- ・はじめの軽微な禁止行為

【警告(減点ポイント1)】

- ・注意が与えられた後の禁止行為
- ・ダメージを伴う禁止行為

【反則注意(減点ポイント2)】

- ・警告が与えられた後の禁止行為
- ・大きなダメージのある禁止行為
- ・減点ポイントが累積された場合

【反則=反則負け(減点ポイント3)】

- ・反則注意が与えられた後の禁止行為
- ・試合続行不可能なダメージのある禁止行為
- ・減点ポイントが累積された場合

※罰則は禁止行為の分類毎に累積され、減点ポイントは分類を超えて累積される

延長以降はサドンデスルール(有効ポイント1又は減点ポイント1が課せられた時点で終了)とする。

また、最終延長戦はどちらかに旗をあげるマストシステムとする。(体重判定は行わない)

【試合時間】

	本戦	延長	再延長
Aクラス	2分	2分	1分（マストシステム）
Bクラス	2分	2分	1分（マストシステム）
マスターズクラス	2分	1分（マストシステム）	
中学生クラス	2分	1分（マストシステム）	
少年部（準決勝まで）	1分半	1分（マストシステム）	
少年部（決勝戦）	1分半	1分	1分（マストシステム）

型試合採点ポイント

- 1、 演武線と正中線がずれない
- 2、 終了時、開始線に戻ってくる
- 3、 前屈、後屈、騎馬立ち等の立ち方を正しく行う
- 4、 残心を取る
- 5、 技の緩急、呼吸と動作の一致
- 6、 姿勢の統一、目線
- 7、 立ち振る舞い（礼儀作法等）

※防具貸し出しについて

インナーチェスト及びアンダーガードに関して他団体にはお貸しいたします。
但し衛生上、道着の上からの着用となります。